

令和4年 かながわ日体未来塾

新学習指導要領に沿った 指導案の作り方②



担当 さとう ひろつぐ
講師 佐藤 宏継

これから教育実習に向けた知識分野の体育理論と保健学習の指導案づくりのポイントを説明します。【クリック】

保健体育

(新)学習指導要領の考え方

生きる力(超高齢 少子 社会)

確かな学力
知識の活用

豊かな人間性
共生

健康や体力
健康寿命

基礎基本を確実に身に付け、
いかに社会が変化しようと、
自ら課題を見つけ、学び、考
え、判断、行動し、よりよく問
題を解決する資質や能力

自らを律しつつ、他
人とともに協調し、
他人を思いやる心
や感動する心など
の豊かな人間性

たくましく生きるた
めの健康や体力

文部科学省

まずは、新学習指導要領の確認です。生きる力の考えは継続され、知識の活用、共生社会、健康寿命への内容が加わりました。併せて指導と評価の観点が変更されました。【クリック】

保健体育

(新)学習指導要領の考え方

生きる力(超高齢 少子 社会)

確かな学力
知識の活用

豊かな人間性
共生

健康や体力
健康寿命

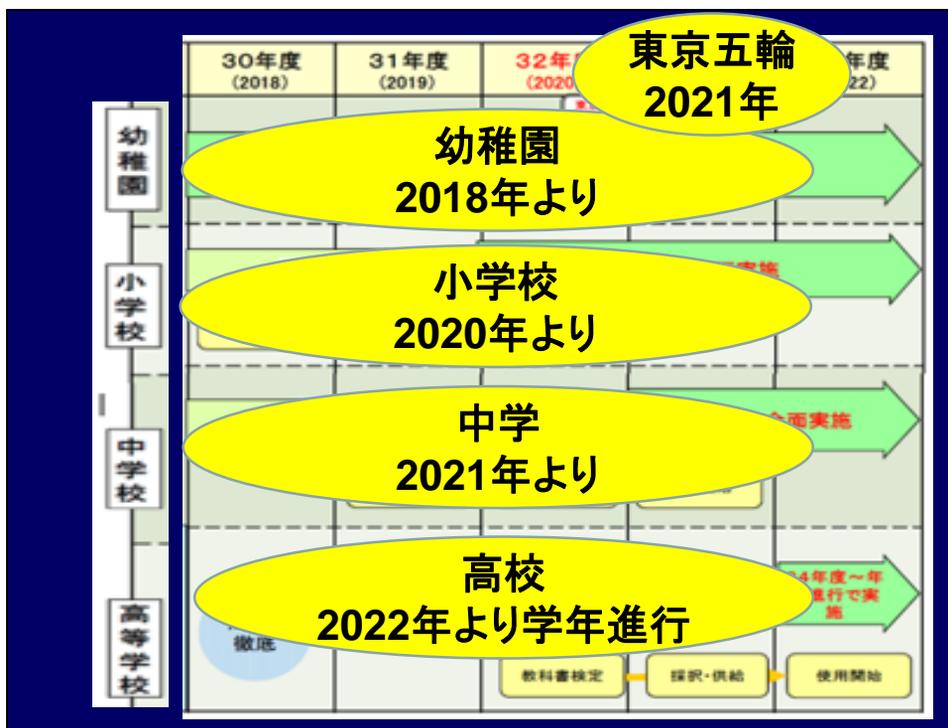
指導 評価の考え

知識及び
技能

思考力、判断
力、表現力等

学びに向かう力、
人間性等

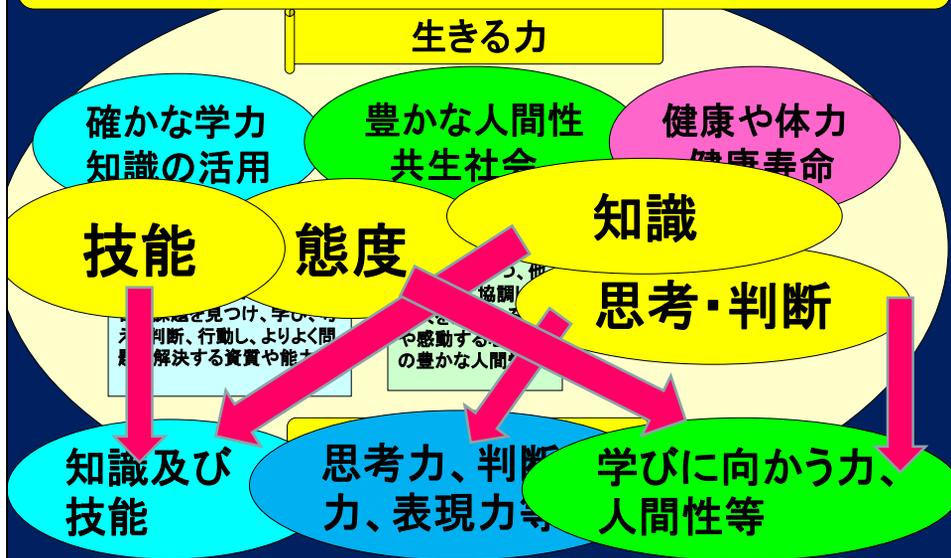
指導と評価の観点の体育分野は4観点から3観点に変更され、知識及び技能、思考力、判断力、表現力等と学びに向かう力、人間性等に変更されました。【クリック】



新学習指導要領は、現在、幼稚園、小学校、中学校で実施されています。高校は、2022年度からは、入学年度生からの学年進行で実施されます。【クリック】

保健体育

(現)と(新)学習指導要領の関係 指導 評価の観点



旧学習指導要領と新学習指導要領の指導と評価の観点ですが、今までの技能、態度、知識、思考・判断の観点が矢印のような関係となっています。【クリック】

体育の知識分野(体育理論) 保健(知識分野)の指導案

- 1 体育理論の指導案
単元目標 指導内容
- 2 保健学習の指導案

次は、知識分野の体育理論と保健学習の指導案の書き方ですが、実技分野の書き方とは異なります。【[クリック](#)】

1 体育理論

保健体育科 (体育 選)

【単元計画】

1 単元名 単元名

● 「領域」「型」は「種目」を記載します。

2 対象 年 組 名

3 期間 平成 年 月 日 () ~ 月 日 ()

4 場所

5 単元の目標

(1) 単元の目標

● 知識力、思考力、判断力等「学習に向かう力、人間性等」の順に記載しましたが... 体育理論は、「技能」はありません。

**単元名は
領域... H 体育理論
内容... 1 運動やスポーツの多様性
(中学) 2 運動やスポーツが心身...
※ 1~ の項目を記載する**

体育理論の単元名は、H 体育理論 単元名(大単元名)を書きます。単元目標の書き方は実技分野と異なります。【クリック】

1 体育理論の指導案(単元目標)

保健体育科 (体育 運動に関する領域)
学習指導と評価の計画

【単元計画】

1 単元名 単元名について

● 「領域」「型：種目」または「種目」を記載します。

2 対象 年 組 名

3 期間 平成 年 月 日 () ~ 月 日 ()

4 場所

5 単元の目標

(1) 単元の目標について

● **どこを書くの？**
「解説」の「知識」「知識力、思考力、判断力等」「学習に向かう力、人間性等」の
の中の文を書く...？

体育学習

単元目標は、学習指導要領解説の観点別の四角の中の文を書き、語尾を「身に付ける」に変えて目標とします。体育理論では「技能」はないので「知識」になります。【[クリック](#)】

体育理論の単元目標(例:中1,2年)

(1) 運動やスポーツの多様性

ア 知識

(1) 運動やスポーツが多様であることについて、課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 運動やスポーツが多様であることについて理解すること。

(ア) 運動やスポーツは、体を動かしたり健康を維持したりするなどの必要性及び競い合うことや課題を達成することなどの楽しさから生みだされ発展してきたこと。**を身に付ける**

(イ) 運動やスポーツには、行うこと、見ること、支えること及び知ることなどの多様な関わり方があること。**を身に付ける**

(ウ) 世代や機会に応じて、生涯にわたって運動やスポーツを楽しむためには、自己に適した多様な楽しみ方を見付けたり、工夫したりすることが大切であること。**を身に付ける**

中学校学習指導要領解説(保健体育編)より

例えば、中学校第1,2学年の体育理論では、「運動やスポーツの多様性」の単元には(ア)(イ)(ウ)の内容があるので、語尾を「身に付ける」にして目標とします。同様に「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」も同じように語尾を変えます。【クリック】

体育理論の単元の指導内容は？

大

小

(7) 運動やスポーツの必要性和楽しさ

(1) 運動やスポーツの多様性

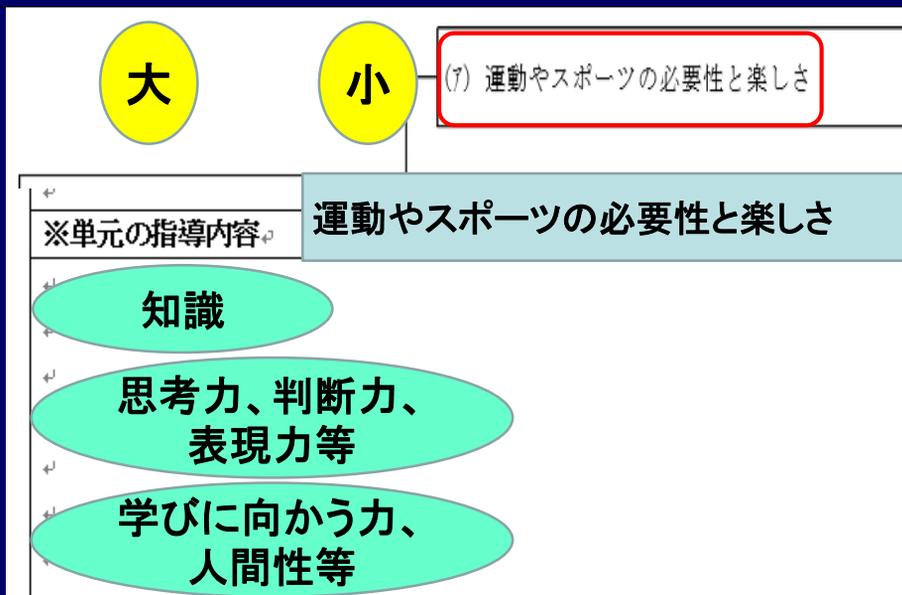
(4) 運動やスポーツへの多様な関わり方

小単元の項目ごとに解説が書いてある。
その解説文の末に「...を理解できるように
する」と書いてある内容が指導内容

新 中学校学習指導要領解説(保健体育編)より

次に、単元の指導内容ですが、例示はありませんので、学習指導要領解説の小単元の説明文に「～を理解できるようにする」と書かれている部分が指導内容になります。【クリック】

新 体育理論(中1)の指導内容は？



新 中学校学習指導要領解説(保健体育編)より

例えば、中学校1学年の「H 体育理論 運動やスポーツの多様性 ア 運動やスポーツの必要性と楽しさ」の指導内容は、知識の観点別の説明内容の「～理解できるようにする」とあるところが指導内容になります。他の観点には「～理解できるようにする」との説明はありません。【クリック】

新 体育理論 小単元の指導内容

知識

(7) 運動やスポーツの必要性和楽しさ

① 運動やスポーツは、体を動かしたり、健康を維持したりする必要性や、競技に応じた力を試したり、自然と親しんだり、仲間と交流したり、感情を表現したりするなどの多様な楽しさから生みだされてきたことを理解できるようにする。

② 運動やスポーツは、人々の生活と深く関わりながら、いろいろな欲求や必要性を満たしつつ発展し、その時々の変化とともに、その捉え方が、競技としてのスポーツから、誰もが生涯にわたって楽しめるスポーツへと変容してきたことを理解できるようにする

また、我が国のスポーツ基本法などを適宜取り上げ、現代におけるスポーツの理念についても触れるようにする。

新 中学校学習指導要領解説(保健体育編)より

「知識」の説明文では、この2箇所「～理解できるようにする」が書いてあり、その前の内容が該当し、この小単元を指導する場合、本時の目標にもなります。【クリック】

指導要領解説の見かた

- ① 「...理解できるようにする。」
 - ・原則必ず扱う内容(主たる内容)
- ② 「...触れるようにする。」
 - ・主たる内容を扱った上で触れる内容
- ③ 「...取り上げる程度とする。」
 - ・あまり深く扱わない

学習指導要領解説の説明文は、次の3つの書き方が示されています。①の「～理解できるようにする」と書かれているところは、必ず指導する内容と理解してください。
【クリック】

新 体育理論の小単元の指導内容

(例:中1)

思考力、判断力、
表現力等

イ 思考力、判断力、表現力等

※ 単元目標と同じ

運動やスポーツが多様であることについて、課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

イ 運動やスポーツが多様であることについて、自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えること。

「...を身に付ける」

新 中学校学習指導要領解説(保健体育編)より

「思考力、判断力、表現力等」は、小単元ごとの説明がありませんので、□の中の文の語尾を「身に付ける」に変えて本時の目標とします。内容は、単元目標と同じです。
【クリック】

新 体育理論の単元の指導内容

(例:中1,2)

学びに向かう力、
人間性等

ウ 学びに向かう力、人間性等

※ 単元目標と同じ

運動やスポーツが多様であることについて、課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ウ 運動やスポーツが多様であることについての学習に積極的に取り組むこと
と「...を身に付ける」

新 中学校学習指導要領解説(保健体育編)より

「学びに向かう力、人間性等」についても小単元に説明がありませんので、□の中の文の語尾を変えて本時の目標とします。【クリック】

新 体育理論の本時の目標(例:中1)

その日に指導する内容

小単元の内容

(1) 運動や

(7) 運動やスポーツの必要性と楽しさ

小単元の解説が書いてある。
その解説文の末に「...を理解できるようにする」と書いてある内容を本時の目標とする(※ 「知識」以外は単元目標と同じ)

新 中学校学習指導要領解説(保健体育編)より

本時の目標は、その日に指導する小単元の知識の内容が本時の目標になります。
【クリック】

新 体育理論の本時の目標(例:中1,2)

(7) 運動やスポーツの必要性と楽しさ

知識

運動やスポーツは、体を動かしたり、健康を維持したりする必要性や、競技に応じた力を試したり、自然と親しんだり、仲間と交流したり、感情を表現したりするなどの多様な楽しさから生みだされてきたことを理解できるようにする。

運動やスポーツは、人々の生活と深く関わりながら、いろいろな欲求や必要性を満たす手段として、さまざまな状況に応じて変容してきたことを理解できるようにする。

語尾は「...理解できるようにする」でよい

また、我が国のスポーツ基本法などを適宜取り上げ、現代におけるスポーツの理念についても触れるようにする。

新 中学校学習指導要領解説(保健体育編)より

先に学習したように、「知識」の本時の目標は、「～を理解できるようにする」と書かれている内容を本時の目標とします。【クリック】

新 体育理論の本時の目標(例:中1,2)

思考力、判断力、
表現力等

イ 思考力、判断力、表現力等

※ 単元目標と同じ

運動やスポーツが多様であることについて、課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

イ 運動やスポーツが多様であることについて、自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えること。

「...を身に付ける」

新 中学校学習指導要領解説(保健体育編)より

「思考力、判断力、表現力等」は、「～理解できるようにする」と書かれたところがないため、単元目標と同じにします。【クリック】

新 体育理論の本時の目標(例:中1,2)

学びに向かう力、
人間性等

※ 単元目標と同じ

ウ 学びに向かう力、人間性等

運動やスポーツが多様であることについて、課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ウ 運動やスポーツが多様であることについての学習に積極的に取り組むこと
と「...を身に付ける」

新 中学校学習指導要領解説(保健体育編)より

「学びに向かう力、人間性等」も「～理解できるようにする」と書かれた説明文がないため、単元目標と同じになります。【クリック】

体育理論の単元計画(例:中学1年)

運動やスポーツの多様性

ア 運動の...

大単元名
「運動やスポーツの多様性」

高校は1つの大単元に4つの小単元

中学は1つの大単元に3つの小単元

単元計画(大単元名:)

回	小単元名	主な指導内容
1	運動やスポーツの必要性と楽しさ	主な内容 小単元の「～理解できるようにする」の中の単語や短文を記載 例:多様な楽しさ ...とらえ方
2	運動やスポーツへの多様な関わり	
3	運動やスポーツの多様な楽しみ方	

体育理論の単元計画ですが、大単元に対して中学は小単元が3つ示されているので、それぞれ1単位時間ずつ指導する場合、このようになります。主な内容は、「～理解できるようにする」の内容の短文や単語などを書きます。【クリック】

(7) 運動やスポーツの必要性と楽しさ

運動やスポーツは、体を動かしたり、健康を維持したりする必要性や、競技に応じた力を試したり、自然と親しんだり、仲間と交流したり、感情を表現したりするなどの多様な楽しさから生みだされてきたことを理解できるようにする。

運動やスポーツは、人々の生活と深く関わりながら、いろいろな欲求や必要性を満たしつつ発展し、その時々の変化とともに、その捉え方が、競技としてのスポーツから、誰もが生涯にわたって楽しめるスポーツへと変容してきたことを理解できるようにする。

ま
ツの
主な指導内容...「理解できるようにする」の前の単語や短文を書く

例えば、小単元の「運動やスポーツの必要性と楽しさ」では、理解できるようにするとあるところの主な内容は、みどり色のような内容があるので、この中のいくつかを書けばいいです。【クリック】

(イ) 運動やスポーツへの多様な関わり方

運動やスポーツには、「する、見る、支える、知る」などの多様な関わり方があることを理解できるようにする。

運動やスポーツには、直接「行うこと」に加えて、「見ること」には、例えば、テレビなどのメディアや競技場等での観戦を通して一体感を味わったり、研ぎ澄まされた質の高い動きに感動したりするなどの多様な関わり方があること、「支えること」には、運動の学習で仲間の学習を支援したり、大会や競技会の企画をしたりするなどの関わり方があること、「知ること」には、例えば、運動やスポーツの歴史や記録などを書物やインターネットなどを通して調べる関わり方があること、などの多様な関わり方があることを理解できるようにする。

おなじく「運動やスポーツへの多様な関わり方」では、理解できるようにするとあるところの主な内容は、このようになり、この中のいくつかを書けばいいです。【クリック】

2. 学習評価の主な改善点について

(1) 各教科等の目標及び内容を「知識及び技能」, 「思考力, 判断力, 表現力等」, 「学びに向かう力, 人間性等」の資質・能力の三つの柱で再整理した新学習指導要領の下での指導と評価の一体化を推進する観点から, 観点別学習状況の評価の観点についても, これらの資質・能力に関わる「知識・技能」, 「思考・判断・表現」, 「主体的に学習に取り組む態度」の3観点到整理して示し, 設置者において, これに基づく適切な観点を設定することとしたこと。その際, 「学びに向かう力, 人間性等」については, 「主体的に学習に取り組む態度」として観点別学習状況の評価を通じて見取ることができる部分と観点別学習状況の評価にはなじまず, 個人内評価等を通じて見取部分があることに留意する必要があることを明確にしたこと。

(2) 「主体的に学習に取り組む態度」については, 各教科等の観点的趣旨に照らし, 知識及び技能を獲得したり, 思考力, 判断力, 表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組の中で, 自らの学習を調整しようとしているかどうかを含めて評価することとしたこと (各教科等の観点的趣旨は, 本通知の別紙4及び別紙5に示している)。

平成31年3月29日の通知文 (文部科学省)より

次に評価規準ですが、前にも説明しましたが、文部科学省からの通知で表記の名称が変更になりました。【[クリック](#)】

進する観点から、観点別学習状況の評価の観点についても、これらの資質・能力に関わる「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3観点に整理して示し、設置者におい

- 評価の観点**
- ① 知識・技能
 - ② 思考・判断・表現
 - ③ 主体的に学習に取り組む態度

て、これに基づく適切な観点を設定することとしたこと。その際、「学びに向かう力、人間性等」については、「主体的に学習に取り組む態度」として観点別学習状況の評価を通じて見取ることができる部分と観点別学習状況の評価にはなじまず、個人内評価等を通じて見取る部分があることに留意する必要があることを明確にしたこと。

- ① 学習状況の評価を通じて見取る部分
- ② 個人内評価等を通じて見取る部分⇒評価しない

まとめると、このようになります。特に、「学びに向かう力、人間性等」については、個人内評価の部分は評価規準にできないということから変わりました。【クリック】

単元 の 評 価 規 準 に な る	十単二タ	「知識」 運動やスポーツの多様性について、(課題を発見し、 つくる その解決を目指した活動を通して内容を)理解している。()内は省略可
	元名を	「思考・判断・表現」 運動やスポーツの多様性について、自己の課題を発 見し、よりよい解決に向けて思考し判 断するとともに、他者に伝えている。
	れば	「主体的に学習に取り組む態度」 運動やスポーツの多様性について、(課題を発見し、そ の解決を目指した活動を通して)学習に 積極的に取り組もうとしている。 ()内は省略可

単元の評価規準、内容のまとまりごとの評価規準は、それぞれの観点別に大単元名を入れ、その後の文をこのように加えれば評価規準となります。※()内は省略してもいいです。【クリック】

学習活動に即した

休業

「知識」
 運動やスポーツの()について、(課題を発見し、必要性と楽しさ) 目指した活動を通して、内容を)理解している。()内は省略可

研

「思考・判断・表現」
 運動やスポーツの()について、自己の課題を発見し、()の解決に向けて思考し判断するとともに、()の活動...グループ学習、調べ学習など

中学... 積極的
 運動やスポーツの()について(課題を発見し、その解決を目指した活動を通して)○○

高校... 自主的
 運動やスポーツの()について(課題を発見し、その解決を目指した活動を通して)○○学習に積極的に取り組もうとしている。()内は省略可

学習活動に即した評価規準も、小単元名を書いてその後にこのような文を加えて評価規準とします。※()内は省略してもいいです。ただ、「主体的に学習に取り組む態度」については、中学と高校では少し表現が異なります。【クリック】

「保健」指導案の書き方(日体大方式)

●単元名と単元の目標及び本時の目標

単元名	
単元の目標	単元名 単元の目標 本時の目標
本時の目標	

●指導観

題材観	題材観 生徒観 教材観	
生徒観		
教材観		

次に、保健学習の指導案の書き方ですが、日体大の「教育実習の手引き」には、単元名と単元目標、本時の目標を書くことになっています。【[クリック](#)】

指導案

● 単元名と単元の目標及び本時の目標

単元名	▽	領域...保健は領域表示はありません。 大単元... (1) 心身の機能の発達と... (中学) (2) 健康と環境 ※ (1)~(4) のいずれかを記載する
単元の目標	▽	大単元... (1) 心身の機能の発達と... (中学) (2) 健康と環境 大単元の下の方の□の内容を記載 ※ 下の□の内容が多い場合は、中単元 に関する箇所だけでよい
本時の目標	▽	中単元の解説の中で、その文の末に「...を理解 できるようにする。」と書いてある部分で、本時の 指導内容が目標となる

単元名は、大単元名を書き、単元目標は、学習指導要領解説の□の中を書きますが、量が多くなるので、中単元に関する箇所を書いてもいいです。本時の目標は、その日に指導する中単元の「～を理解する」と書いてある箇所を本時の目標とします。
【クリック】

指導案の書き方(日体大方式)

●指導観	
題材観	題材(大単元の内容)にかかる課題や将来に生徒が運動やスポーツ、健康にかかる課題等を書く
生徒観	題材や教材への生徒の興味・関心、生徒の授業での様子を書く
教材観	教材(小単元の指導内容)にかかる留意点や生徒の学習活動、指導法等を書く

指導観として、題材観や生徒観、教材観がありますが、吹き出しの様な内容を書きこんでください。【クリック】

指導案の書き方(日体大方式)

●単元の評価規準（国立教育政策研究所「評価規準」を参照にして作成）

関	単元の評価規準 内容のまとめりごとの評価規準			
---	-----------------------------------	--	--	--

●指導と評価の計画

時間	学習活動に即した評価規準を書く欄 は設けられていない			
	単元と評価の計画			

●本時の展開

段階	学習内容と学習活動	学習形態	教師の指導・支援	評価の方法・観点
	本時の展開			

次に、単元の評価規準や内容のまとめりごとの評価規準と指導と評価の計画、本時の展開を書きます。しかし、日体大方式では「学習活動に即した評価規準」の欄はありません。【クリック】

指導案の書き方(日体大方式)

●板書計画

板書計画(1~2)

●本時のワークシート

ワークシート(学習カード、配布物)

最後は、板書計画と学習カードや配布物を書きます。【クリック】

保健学習 領域... 保健分野(中学)
 ※ 領域表示は書かなくてよい

大単元... (1) 健康な生活と疾病の予防(中学) (2) 心身の機能の発達と...
 ※ (1)~(4)単元のいずれかを記載する

保健体育科(体育 運動)

【単元計画】

1 単元名 単元名に

● 「領域」「型：」は「種目」を記載します。

2 対象 年 組 名

3 期間 平成 年 月 日() ~ 月 日()

4 場所

5 単元の目標

(1) 単元の目標について

大単元... (1) 健康な生活と疾病の予防(中学) (2) 心身の機能の発達と...
 ※ 各単元の下の方の□の内容を記載

体育学習
 ハンドブック
 (神奈川県立
 体育センター
 H25,3)より



単元の領域表示はありませんので書きません。単元名は、大単元名を書きます。【クリック】

保健学習の単元構成(例 中学 (2))



中学も高校も保健学習の単元構成は、大単元と中単元、小単元で構成されていますが、高校は小単元の解説までありますが、中学は中単元までがほとんどです。【クリック】

保健学習の単元目標(例 中学 (2))

(2) 心身の機能の発達と心の健康

(2) 心身の機能の発達と心の健康について、課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

- ア 心身
への対
(ア) 身
時期
るこ
(イ) 思
また
(ウ) 知
を受
自己

それぞれ単元の□の中を全部書いてもよいが、内容が多いので、本時に関係ある(中)単元の内容 アイ...の一つでもよい。
「...こと」で終わっているので、語尾を「～を身に付ける」に変える。

- (エ) 精
スは
欲求やストレス

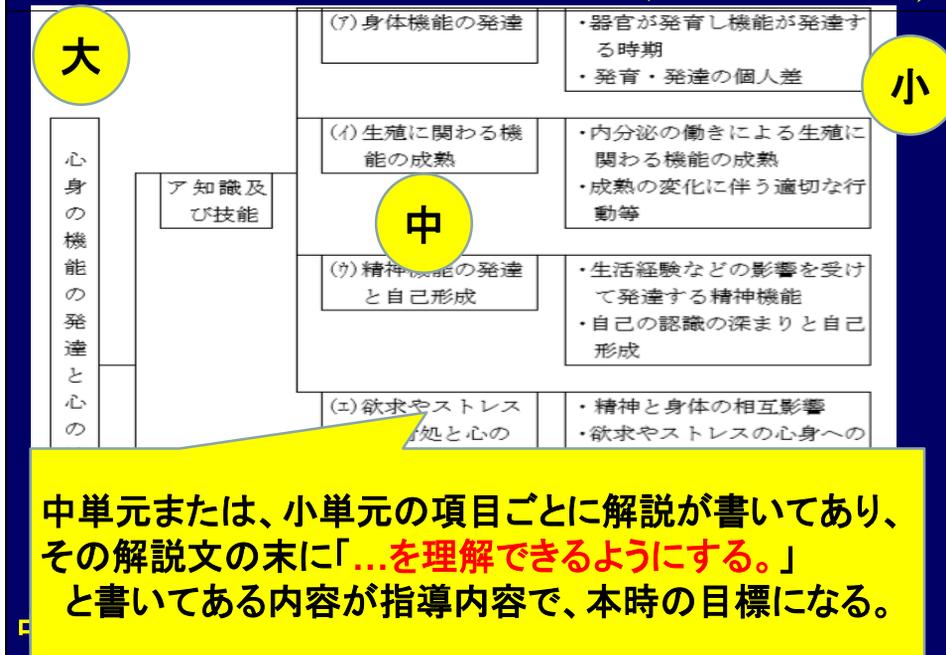
対処する必要があること。

イ 心身の機能の発達と心の健康について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断するとともに、それら表現すること。

中学校学習指導要領解説(保健体育編)より

単元目標は、学習指導要領解説の観点別に□で囲まれている箇所の文を書いて語尾を変えます。しかし、内容が多いので、中単元に関係する所を選んで書いてもいいです。語尾は「～を身に付ける」に変えます。【クリック】

保健学習 単元の指導内容(本時の目標)



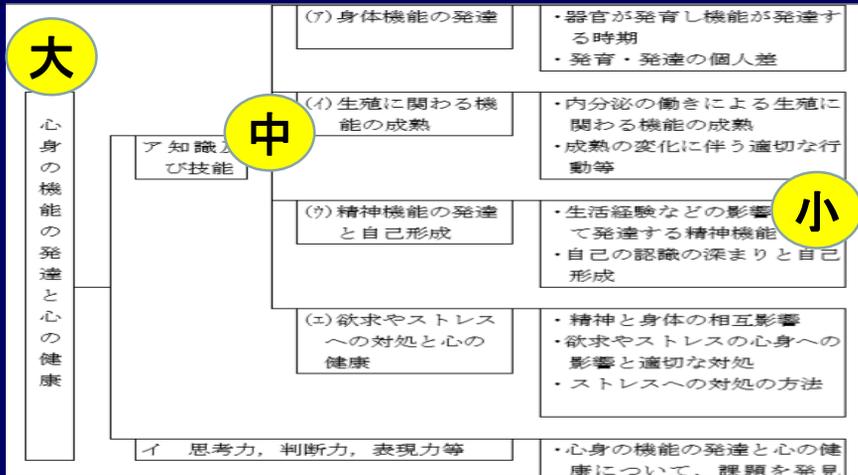
また、本時の目標は、その日に指導する予定の中単元または、小単元の解説文の「～理解できるようにする」と書かれているところをそのまま本時の目標とします。【クリック】

学習指導要領解説の見かた

- ① 「...理解できるようにする。」
 - ・原則必ず扱う内容(主たる内容)
- ② 「...触れるようにする。」
 - ・主たる内容を扱った上で触れる内容
- ③ 「...取り上げる程度とする。」
 - ・あまり深く扱わない

「～理解できるようにする」と書かれているところを目標にするのは、必ず指導するところだからです。【クリック】

大単元 心身の機能の発達と心の健康
 中単元 ア 生殖にかかわる機能の成熟
 小単元 ・内分泌の働き ・適切な行動



中学校学習指導要領解説(保健体育編)より

例えば、中学では、大単元の「心身の機能の発達と心の健康」では、【クリック】

単元の目標(例 中学 保健 (2))

(2) 心身の機能の発達と心の健康

- (2) 心身の機能の発達と心の健康について、課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。
- ア 心身の機能の発達と心の健康について理解を深めるとともに、ストレスへの対処をすること。
- (ア) 身体には、多くの器官が発育し、それに伴い、様々な機能が発達する時期があること。また、発育・発達の時期やその程度には、個人差があること。
- (イ) 思春期に、性ホルモンの働きによって生殖に関する機能が成熟すること。
- (ウ) 生活経験などの影響を受けて発達すること。また、思春期においては、自己の認識が深まり、自己形成がなされること。

**「...こと」で終わっているので、
語尾を「～を身に付ける」とする。**

中学校学習指導要領解説(保健体育編)より

単元目標は、□の中の「～こと」で終わっている所の語尾を「～を身に付ける」にします。【クリック】

本時の目標(中・小単元の指導内容)

(イ) 生殖に関わる機能の成熟

- 1 思春期には、下垂体から分泌される性腺刺激ホルモンの働きにより生殖器の発育とともに生殖機能が発達し、男子では射精、女子では月経が見られ、妊娠が可能となることを理解できるようにする。また、身体的な成熟に伴う性的な発達に対応し、個人差はあるものの、性衝動が生じたり、異性への関心などが高まったりすることなどから、異性の尊重、性情報への対処など性に関する適切な態度や行動の選択が必要となることを理解できるようにする。
- 2

語尾は「～を理解できるようにする」とする。※そのままよい

なお、中学校全体で共通理解を図ることで、保護者の理解を得ることなどに配慮することが大切である。

中学校学習指導要領解説(保健体育編)より

中学の指導内容では、中単元の解説文の「～を理解できるようにする」と書いてある箇所なので、そこを本時の目標とします。高校では小単元の「～を理解できるようにする」と書いてある箇所を本時の目標とします。【クリック】

単元の計画(大単元または中単元)

単元計画(大または中)

※指導案に記載の指示はないが作成上不可欠なものです。

単元(中または小)	主な内容
解説の中単元または、小単元の項目を書く	「...理解できるようにする」と書いてある文中の主な内容を書く

中学校学習指導要領解説(保健体育編)より

単元計画は、中単元または小単元名を書いて、その解説文の中の「～を理解できるようにする」と書いてある分の中の単語や短文を主な内容とします。【クリック】

単元の計画と主な指導内容

大	心身の	ア知識及び技能	(ア)身体機能の発達	<ul style="list-style-type: none"> ・器官が発育し機能が発達する時期 ・発育・発達個人差 	小
			(イ)生殖に関わる機能の成熟	<ul style="list-style-type: none"> ・内分泌の働きによる生殖に関わる機能の成熟 ・成熟の変化に伴う適切な行動等 	

(イ) 生殖に関わる機能の成熟

思春期には、下垂体から分泌される性腺刺激ホルモンの働きにより生殖器の発育とともに生殖機能が発達し、男子では射精、女子では月経が見られ、妊娠が可能となることを理解できるようにする。また、身体的な成熟に伴う性的な発達に対応し、個人差はあるものの、性衝動が生じたり、異性への関心などが高まったりすることなどから、異性の尊重、性情報への対処など性に関する適切な態度や行動の選択が必要となることを理解できるようにする。

例えば、中単元の「生殖に関わる機能の成熟」の解説の中の緑枠(単語や短文)を主な内容に書けばいいです。【クリック】

(新)保 中学 単元 の 評価 規準	内容 の ま と ま り ご と	<p>「知識 (技能)」 (大単元名)について、個人生活における健康・安全について理解を深める。(とともに、基本的な技能を身に付ける。) ※()内は「技能」の表記がある場合は記載</p>
		<p>「思考・判断・表現」 (大単元名)について、個人生活における健康・安全に関する課題を発見し、その解決を目指して科学的に思考し判断しているとともに、それらを他者に伝えようとしている。</p>
		<p>「主体的に学習に取り組む態度」 (大単元名)について、自他の健康の保持増進についての学習に自主的に取り組もうとしている。</p>

単元または内容のまとまりごとの評価規準は、大単元名をかき、その後にこのような分を加えて観点別の評価規準とします。赤字は中学校用です。【クリック】

(新)保健

高校 単元の評価規準

内容のまとめりごと

「知識 (技能)」
 (大単元名)について、**個人及び社会生活**における健康・安全について総合的に理解を深め言ったり書きだしたりしている。(とともに、基本的な技能を身に付けている。)

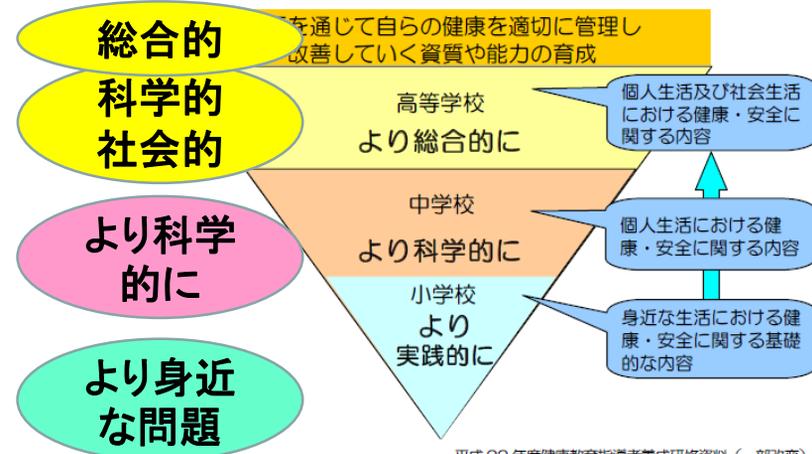
「思考・判断・表現」
 (大単元名)について、**個人及び社会生活**における健康・安全に関する課題を発見し、その解決を目指して**総合的**に思考し判断しているとともに、それらを他者に伝えようとしている。

「主体的に学習に取り組む態度」
 (大単元名)について、自他の健康の保持増進についての学習に**主体的**に取り組もうとしている。

高校は、観点別にこのような文を加えて評価規準とします。赤字は高校用です。【クリック】

2 保健学習の実践的方法

保健学習は、健康・安全に関する基礎的・基本的な内容を生徒が体系的に学習することにより、健康問題を認識し、これらを科学的に思考・判断し、適切に対処できるようにすることをねらいとしており、生涯を通じて健康で安全な生活を送るための基礎を培う上で中心的な役割を担っています。(図4)



平成22年度健康教育指導者養成研修資料（一部改変）

図4 保健学習体系化のイメージ

保健学習ハンドブック(神奈川県立体育センター H24,3 改定版)より

評価規準の中学と高校との違いは、旧学習指導要領が交付された時の「保健学習の考え方」が示されたことによります。【クリック】

(新) 中学

学習活動に即した評価規準

内容のまとまりごと

「知識 (技能)」
 (中単元または小単元名)について、理解したことを言ったり書いたりしている。(とともに、基本的な技能を身に付けている。)

「思考・判断・表現」
 (関連する例示を記載)...語尾を「～こと」⇒
 「～を(発表やレポート作成などの表現活動を記載)している」に変える。

○○...発表やレポート作成などの表現活動

「主体的に学習に取り組む態度」
 (中単元または小単元名)について、自他の健康の保持増進や回復についての学習に自主的に取り組もうとしている。

学習活動に即した評価規準、または内容のまとまりごとの評価規準は、中単元または小単元名に加え、このような文を加えて評価規準とします。ただ、「思考・判断・表現」は、指導内容が例示されていますので、例示を活用した方法を示しています。【クリック】

(新)高校

学習活動に即した評価規準

内容のまとめりごと

「知識 (技能)」
 (小単元名)について、理解を深め、言ったり書きだしたりしている。(とともに、基本的な技能を身に付けている。)

「思考・判断・表現」
 (関連する例示を記載)...語尾を「～こと」⇒「～を(発表やレポート作成などの表現活動を記載)している」に変える。

〇〇...発表やレポート作成などの表現活動

「主体的に学習に取り組む態度」
 (小単元名)について、自他の健康の保持増進や回復についての学習に**主体的**に取り組もうとしている。

高校の学習活動に即した評価規準、または内容のまとめりごとの評価規準は、小単元名に加えてこのような文を加えて評価規準とします。ただ、「思考・判断・表現」は、指導内容が例示されていますので、例示を活用した方法を示しています。【クリック】

授業形態...指導方法の工夫

授業では、発問での方法が考えやすい

発問①...今持っている知識で回答できる
新たな知識・理解

発問②...今までの知識をかくはんさせる質問
科学的、総合的な知識理解

ど

T・T	発問	実験 実習	ディベート
ディスカッション	ブレインストーミング	調べ 学習	ロールプレイング

保健学習ハンドブック(神奈川県立体育センター H24,3 改定版)より

本時の展開ですが、最近の授業にはこのような形態があります。中でも一般的なのが、「発問」方式です。求められる授業では、「メタ認知」能力を高める発問法があります。質問に対して生徒が答えるのは「今持っている知識」で答えるので、そこから新たな知識の学習を通してよりレベルアップを図る必要があります。【クリック】

本時の目標、本時の展開

本時の展開			
時間	学習内容・学習活動	指導上の留意点 ※学習内容、学習活動の欄に記載してもよい	評価の観点及び評価方法 ※必ず書く
	※本時の内容や「めあて・目標」の説明を「はじめ」に記載する 本時のねらいや目標、目当て等に気付かせるための教師からの質問を指導案内に記載すると良い		
	教師からの質問を指導案内に記載するとともに、予測される生徒の回答や反応を記載すると良い ※「おわり」には「まとめ」とワークシート等の記録活動を入れる		評価の観点と評価方法を記載

大事なものは、本時の目標やねらいに気付かせる質問や具体的な健康行動につながる質問等を用意しておく必要があります。また、「今持っている知識」は個々に違うので、「話し合い活動」などで共通理解を図って新たな知識を学習したり、学んだ知識が活用できるかなどの授業展開が必要です。【クリック】



お疲れ様でした。教員採用試験の二次試験対策は、6月にホームページにアップします。【クリック】